

大正区コミュニティセンター前噴水広場の南側花壇に「財団法人大正区コミュニティ協会」設立20周年を記念し、平成17年12月に「江戸時代の大正区の風景」のパネルが設置されました。



浪花百景「しりなし^{うるし}漆づゝみ甚兵衛の小家」(左側の図)

尻無川兩岸に築かれた堤防には、黄櫨漆^{はげうるし}が植え連ねられ、秋には紅葉を愛でる多くの市民でにぎわった。また、甚兵衛渡しの小家(渡船待合所)では、蜷汁^{しじみじる}などが振舞われた。

「大坂大湊^{おおさかおおみなと}一覽」(中央の図)

江戸時代の大坂は、南木津川、北の安治川を湊^{みなと}として利用した。北前船^{きたまえぶね}を中心とする諸国廻船^{しよこくかいせん}は、木津川筋を往来する一方、菱垣廻船などは、安治川筋を利用した。

浪花百景「木津川口千本松^{きづがわぐちせんぼんまつ}」(右側の図)

天保3年(1832)に行われた木津川の川湊^{かわざら}えの時、幕府は河口南岸に石垣堤を築き、諸国廻船^{しよこくかいせん}が入出帆しやす^{みなと}いように湊を整備した。この堤には松並木が植えられ、千本松として知られた。

